

◆2024年12月の新刊

日本キリスト教団出版局

押田成人 遊行の巡礼者

みやもとひさお
宮本久雄 編

1945年生。東京大学、パリ第四大学、エルサレム聖書研究所等で学ぶ。現在、東京純心大学教授、東京大学名誉教授、ドミニコ修道会司祭。神学マギステル。

いし い ち え み
石井智恵美 編

1960年生。同志社大学大学院、ミュンヘン大学大学院等で神学を学ぶ。日本基督教団教師、農村伝道神学校講師。

信州の八ヶ岳山麓に高森草庵をひらき、祈りと労働、思索の日々を送った押田成人神父。病を同伴者としつつ歩んだ生涯と、キリスト教や仏教、イスラームなど、宗教や民族を超えた人びとの出逢いを通して培われたその思索をたどる。評伝的一冊。

四六判・並製・176頁・定価2,200円（本体2,000円+税）
ISBN978-4-8184-1183-8 C0016

目次

第1章 誕生からドミニコ会入会まで

少年時代
旧制第一高等学校時代
ホイヴェルスさんとの出会い、受洗
戦争体験
哲学と司祭の道へ
宮城県荒浜海岸での仮死体験

第2章 高森草庵に生きる

ドミニコ会入会からカナダ滞在、日本帰国まで
高森草庵のはじまり——新しき村へ

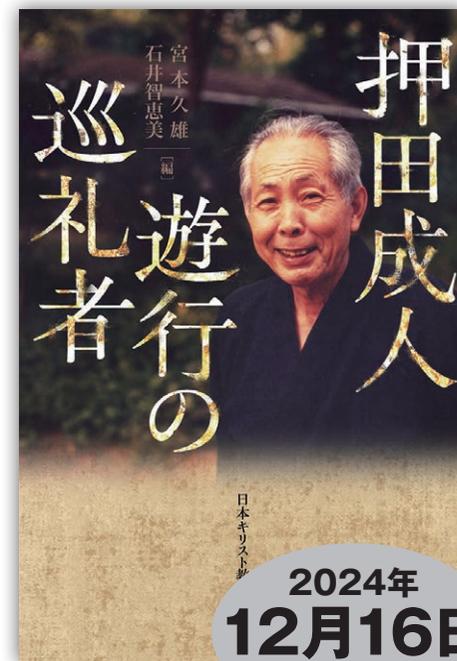
かくれキリシタンとの出逢い
コトことば

第3章 人々とのめぐりあいと九月会議

I 国内でのめぐりあい
II 海外でのめぐりあい
III 九月会議

第4章 現代文明との闘いと思惑の深まり

I 現代文明との闘い
II 思惑の深まり



第5章 闘病と晩年

世界を巡礼して
本格的な闘病生活へ
聖書の翻訳
説教
「ひとり ひとり 心得べきこと」
天に召されるまでの日々
押田さんが残したもの

押田成人著作選集
好評発売中

『1 深みとのめぐりあい——高森草庵の誕生』（オンデマンド版）『2 世界の神秘伝承との交わり——九月会議』
『3 いのちの流れのひびきあい——地下流の霊性』 宮本久雄／石井智恵美 編 第1巻 定価3,960円 第2・3巻 定価2,970円

◆2024年12月の新刊

日本キリスト教団出版局

それでも、希望に生きる

聖書黙想366日

う え が き ま さ る
上垣 勝 著

1942年生、大阪府出身。製鉄会社勤務を経て献身。日本基督教団牧師、教諭師、幼稚園理事長を歴任しつつ福岡、青森、福井、東京の教会で47年間伝道牧会。2020年3月隠退。現在 板橋区在住。

聖書のみ言葉と
私たちが直面する現実世界、
2つを両軸に展開する黙想書

テゼ共同体の祈りに学び、その実践に生きる著者による366日の聖書黙想。書斎での聖書読解だけではなく、日々の生活の中で、世界の動きを感じつつ、日毎の糧である聖書の言葉を黙想したもの。世界の中で聖書に聞き、聖書を通して世界を見る。

A5判・並製・336頁・定価4,400円（本体4,000円＋税）
ISBN978-4-8184-1182-1 C0016

【好評発売中】『海鳥たちの遺言——世界と神を黙想する』上垣 勝 著
四六判 並製・208頁・定価2,420円



2024年
12月23日
刊行予定

キリスト教古典叢書

聖ボナヴェントウラ 著作選集

フランシスコ会日本管区 監修
小高 毅 編訳



没後 750 年記念出版!

同時代の盟友トマス・アクィナスと双璧をなす中世スコラ学の巨星が残した霊的・神学的著作を精選して収載。フランシスコ会学派を代表する思想家の、知的な営みと生の経験の統合を試みた神秘主義的思考を明らかにする。フランシスコ会の総長を務め、枢機卿にも叙された非凡な聖人の全体像を示す詳細な解説付き。



《収録作品》

『三様の道もしくは愛の焰』『生命の完成——姉妹たちに宛てて』『魂の管理』『ソリロキウム——精神の四つの鍛練』『幼子イエスの五つの祝祭』『生命の樹』『神秘の葡萄の樹あるいは主の受難についての考察』『主の受難の聖務日課』

〈手紙〉『キリストに倣うこと』『第一回状』『アシジの聖クララ修道院の修道院長と姉妹たちに宛てた手紙』

〈説教〉『聖フランシスコの祝日の説教』『キリストのいとも聖なる御体』

『プレヴィロキウム』

《訳者紹介》

伊能哲大 (いよく・あきひろ) … フランシスコ会士・司祭

小高 毅 (おだか・たけし) … フランシスコ会士・司祭

小西広志 (こにし・ひろし) … フランシスコ会士・司祭

須藤和夫 (すどう・かずお) … 古代中性哲学研究者

マリア・エリサベツ … 桐生聖クララ会修道女

メリー・パイエス … 桐生聖クララ会修道女

湯沢民夫 (ゆざわ・たみお) … フランシスコ会士・司祭

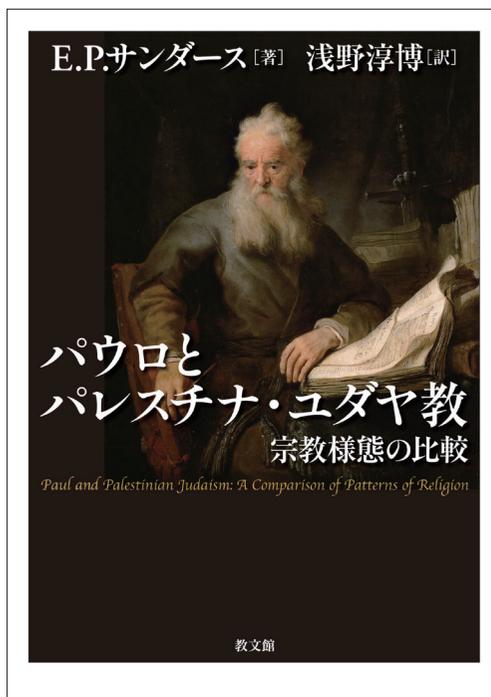
A5判・上製・668頁・定価 9,680円 (本体 8,800円+税)・ISBN 978-4-7642-1815-4 C0316



パウロとパレスチナ・ユダヤ教

宗教様態の比較

E.P.サンダース [著] 浅野淳博 [訳]



ユダヤ教は行為義認の宗教なのか？

そうでなければ、パウロはユダヤ教の何を批判したのか？

現代の聖書学に先鞭をつけた稀代の名著、40周年記念版からの待望の翻訳！

1977年に発行されるや、「義認論」をめぐってキリスト教界を揺るがし、今も大きな衝撃を与え続ける記念碑的著作。「パウロに関する新たな視点」(NPP)を理解する上で不可欠な書。

「本著ほど、発刊とともに大きな衝撃を与え、その影響がこれほどに持続している著書は、聖書学の領域において非常に稀だ。著者E.P. サンダースは、当時入手可能だった前200年～後200年にわたるパレスチナ・ユダヤ教文献のほぼすべて——初期のラビ文献、当時公刊されていた死海巻物、そして旧約聖書外典と偽典——を総合的に分析して、かつて新約聖書学者が1人としてなし得なかったことを成し遂げた。彼が目指したことは、ユダヤ教神学の中心的思想を確定し、これをパウロ神学と比較しつつ、両者の理解について新たな提案をすることだった」。

「緒言」(初版発刊40周年を記念して)より マーク・A. チャンシー

❖著者 E.P.サンダース オックスフォード大学クィーンズ・カレッジやデューク大学などで教える。著書 『イエス——その歴史の実像に迫る』『パウロ』(いずれも教文館)ほか。

❖訳者 浅野淳博 現在、関西学院大学教授。著書 『新約聖書の時代』(教文館)、『死と命のメタファ』(新教出版社)ほか。

A5判・上製・888頁・定価12,100円(本体11,000円+税) ISBN978-4-7642-7492-1 C3016

ロゴセラピーのレッスン

21の知恵

パム・ロイ、モイラ・フンメル共著、赤坂桃子訳

B 6 変形・上製・112 頁・本体 1500 円（税込定価 1650 円）
ISBN 978-4-400-31104-1 C1011

自分のたましいをケアするために

ヴィクトール・フランクルが創始したロゴセラピーは、人間を「肉体」「心」「たましい（「精神」とも呼ぶ）」の総合と捉え、特に、自分自身から距離をとって人生について考え、目標と方向を選ぶ自由な「たましい」の次元を重んじる。たましいを粗末に扱っていると心身の健康がむしろばまれてしまう。

著者の二人は、フランクルの膨大な著作の中から 21 の珠玉の短文を選び出し、人生において大切な 21 のテーマに沿って、一人一人が自らのたましいをケアするための手ほどきをしてくれる。

共著者パム・ロイ（Pam Roy）とモイラ・フンメル（Moirra Hummel）は、アメリカ・ヴィクトール・フランクル研究所の共同設立者。ロイは市場調査ビジネス、フンメルは弁護士として働いたかわら、里子支援やホームレス支援の非営利組織で活動してきた。

【目次より】	
人間性	（扱われる21のテーマ）
ユニークさ	自由
ユーモア	お金
自分が変わる	空虚さ
自己超越	責任
共同体	人間の精神
寛容	緊張
反応	孤独
幸福	苦悩
生きる	仕事
目的	選択



著者◎ヘンリ・ナウエン

キリスト教霊性についての著作で、世界的に広く認められたカトリック司祭。オランダ生まれ。ノートルダム大学、イエール大学、ハーバード大学で教えたのち、知的、身体的ハンディを負った人々の牧者として、カナダにあるラルシュ・コミュニティで暮らした。

訳者◎中村佐知

シカゴ在住。プリンストン大学大学院卒。哲学博士。翻訳家。霊的同伴者。伝道者聖ヨハネ エピスコパル教会教会員。著書『まだ暗いうちに』『魂をもてなす』訳書『驚くべき希望』『心の刷新を求めて』『聖書に学ぶ子育てコーチング』『福音の再発見』『境界線』他。

ローマの道化師

独り静まること、独身でいること、祈り、観想についての省察

著者 ヘンリ・ナウエン

訳者 中村佐知

ISBN978-4-900677-48-7
C0016 ¥1800E

四六判 184頁 並製
定価 1,980円 (本体1,800円)

もくじ

謝辞

改訂版への序文 スー・モステラーCSJ

はじめに

第1章 独りになることと共同体

第2章 独身でいることと聖なるもの

第3章 祈りと思考

第4章 観想と支援の働き

あとがき

訳者あとがき

◎ローマで過ごした数か月間、ナウエンが最も影響を受けたのは、バチカンの赤装束の枢機卿でも「赤い旅団」(テロリスト)でもなく、大きな出来事の合間に起きたいくつもの出来事、目立たない奉仕をしている人々でした。その人々を、ローマでよく見かける道化師に例えて語った味わい深い講演集。

◎道化師は、注目を浴びる雇い物の合間に登場し、失敗したり、こけたりします。観衆が感嘆の声を挙げる英雄的な演技の緊張の後、私たちに笑顔を取り戻させてくれます。

ぎこちなく、こっけいで、不器用で、失敗しますし、バランスも取れません。それでも彼らは私たちの味方です。道化師たちは涙と微笑みで、私たち皆が人間の弱さを共有している仲間であることを思い出させてくれます。

死に備えるための格好の読み物



A5判 58頁 定価660円(本体600円+税)
ISBN978-4-264-04523-6 C0016
いのちのことば社卸コード 05500

キリスト教の 終活のおはなし

水野 健 著

「キリスト教の終活セミナー」として各地で話してきたことをまとめた小冊子。自分の人生を振り返り、与えられた良きものを再発見し、生きてきた恵みを味わうよう導く。葬儀や埋葬など実際なことにも言及してある。

水野 健 (みずの・けん)

石川県金沢市出身。東京理科大学、聖書宣教会卒業後、千葉県の流山福音自由教会、福岡福音自由教会、枚方コミュニティ・チャペル牧師を経て、現在、フリーで各教会を巡回し、奉仕中。日本カウンセリング学会会員、表千家茶道教室講師、社会福祉法人ミッションからしだね評議員。

著書に、『増補改訂 結婚を考えている二人のために』、『増補改訂 夫と妻のしあわせづくり』、『愛する人と自分のためのキリスト教葬儀』、『キリスト教の終活・エンディングノート』、『クリスチャン・エンディングノート』(以上、いのちのことば社)がある。

いのちのことば社 新刊案内 2024年12月発売予定

この人を見よ

エツケ・ホモ

キリストの生涯

榎本保郎 著



命を削りながら著した
未完の「イエス伝」



高度経済成長期を突き進む日本で、
本当に大事なものは何かと問い、
病を抱えながら「主の用なり」と
東奔西走した一人の牧師

榎本 保郎
(えのもと・やすろう)
1925-1977

アシュラムセンター
創立 **50** 周年
記念出版

いのちのことば社 定価(本体2,000円+税)

四六判 228頁 定価2,200円(本体2,000円+税)

ISBN978-4-264-04534-2 C0016

いのちのことば社卸コード 01405

高度経済成長期を突き進む中で、本当に大事なものは何かと問い、病を抱えながら「主の用なり」と東奔西走した榎本保郎牧師。命を削りながら著した未完の「イエス伝」。「百万人の福音」1975年～1977年の連載を単行本化。

榎本保郎 (えのもと・やすろう)

1925年淡路島に生まれる。同志社大学神学部在学中、世光保育園、世光教会を創立。1963年今治教会より招かれ、牧会と並行して、アシュラム運動を推進する。その後アシュラム運動に専念し、近江八幡市にアシュラムセンターを設立、各地のアシュラムの指導育成にあたった。1977年7月、アメリカを伝道旅行中、ロサンゼルスにて客死。

主な著書に『ちいろば牧師の一日一章旧約聖書篇』、『ちいろば牧師の一日一章新約聖書篇』、『聴くこと祈ること』(いのちのことば社)、『ちいろば』、『祈りと瞑想への道』(聖燈社)など。

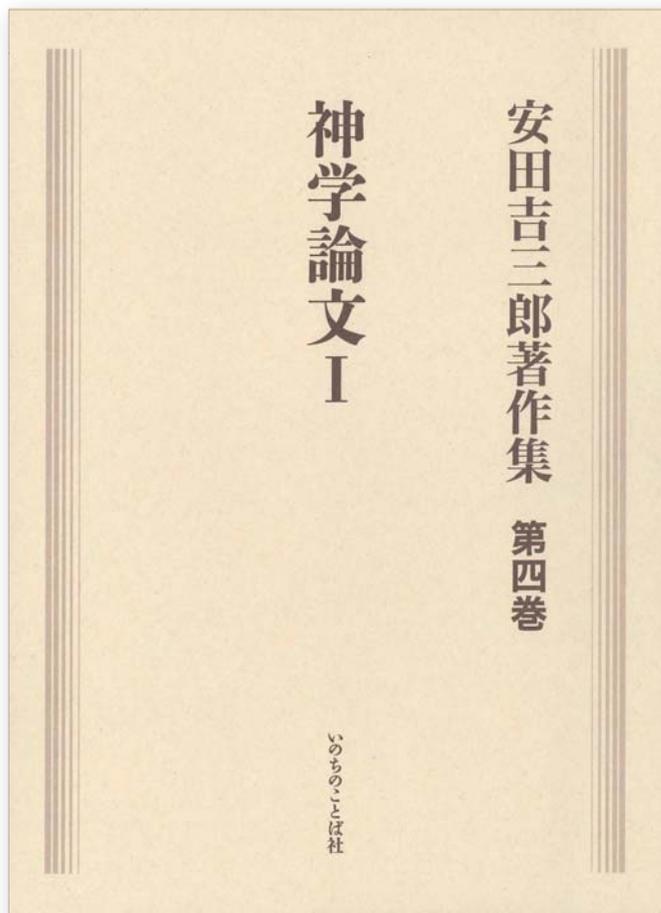
安田吉三郎著作集 第四巻 神学論文 I

安田吉三郎 著

改革派教会の信仰、礼拝、賛美、祈りといった主題を収載した実践神学論稿。聖書神学的深みと歴史神学・組織神学的厚みを裏づけとしている一編一編は、福音主義信仰の真髓を明瞭に示す。

安田吉三郎（やすだ・きちさぶろう）

1930年、兵庫県生まれ。1952年、関西学院大学文学部卒業。1956年、神戸改革派神学校卒業。1964年、米国ウェストミンスター神学校旧約学修士課程修了（Th.M.）。1956年、日本キリスト改革派教会教師任職。以降、岐阜県美濃加茂市太田伝道所、兵庫県宝塚市宝塚伝道所、千葉県八千代市勝田台教会、神戸市神港教会の牧師、ならびに神戸改革派神学校聖書学教授、同校理事長、日本福音主義神学会理事長、淀川キリスト教病院理事などを務める。2000年、牧師を引退。2023年、召天。



A5判 上製 464頁 定価5,940円(本体5,400円+税)
ISBN978-4-264-04532-8 C0016
いのちのことば社卸コード 16180